

# 木津川市

第12号

## 議会だより



本会議	2～5
予算特別委員会	6・7
常任委員会	8～11
補正予算特別委員会	12
代表質問	13～17

一般質問	18～25
特別委員会	26
組合議会報告	26・27
わたしの意見	28

ちよっぴりドキドキ年生  
(棚倉小学校)

# 負担増にあいつく意見

3月定例会は、2月26日から3月26日までの29日間の会期で開催した。  
同意6件・諮問1件・議案41件・発議4件を審議し、すべて原案どおり同意・可決した。

22年度予算 230億6100万円

加茂学校給食センター開始

一般会計予算は、前年度比8億3300万円(3.7%増)増額した。収入は、景気の急速な悪化に伴い、個人・法人ともに市民税の大幅な減少が見込まれる。支出は、高齢化の著しい進行などにより扶助費が増加し、公債費も依然と高い水準で推移するなど、極めて厳しい状況である。

修正内容は、約4億5千万円の基金繰り入れや起債で、国保税の値上げをやめるなど予算を組み替えるもの。

組み替え動議の修正案が提出された。

## 討論

### 原案賛成

行財政改革を進める一方、二カ所目となる「つどいのひろば」の開設や「病後児保育」の実施などの子育て支援策も拡充しており、高く評価する。

(吉元善宏)

### 修正案賛成

財政難を理由に、施策の廃止や税の引き上げで対応をしている。金があれば知恵を出し、市民のいのちとくらしを守るため力を尽くすべきだ。

(村城恵子)

市長は、施政方針で「木津川市総合計画」に基づく予算を組んだと表明。特に子育て支援事業、学校の耐震補強工事などの教育環境整備事業、また、遷都1300年祭など観光事業にも重点をおいた。

日本共産党議員団から

修正案は賛成少数で否決  
原案は賛成多数で可決

(賛成19人・反対5人・  
退席1人)



4月12日に給食がスタート(加茂学校給食センター)

新設の加茂学校給食センターは、4月12日から給食を開始する。  
場所 加茂町観音寺石部  
委託業者 (株)東洋食品  
(大阪市)

食数 1500食  
○ 泉川中学校  
○ 梅美台小学校  
○ 州見台小学校

# 平成22年度一般会計予算

# 市長の仕上げ予算

## 国保税17・1%の引き上げ

### 討論

21年度国民健康保険

計は、約1億8000万円の赤字見込み。一般会計から9850万円の繰入れと京都府から9700万円の借入により赤字補てん。22年度は、国保税を平均17・1%引き上げ、一般会計から4100万円の繰入れ。

医療分の税率改正  
所得割 5・78%

均等割 ↓8・3%  
2万4000円  
↓2万6000円  
平等割 1万9800円  
↓2万2000円

#### 反対討論

所得は減るが、保険税は上がり続ける。これでは滞納者が増え、財政が悪化する。さらに引き上げられ滞納者が広がる今回の値上げに反対。

(森岡 讓)

#### 賛成討論

当市の国保財政は、経済の低迷で保険税の収入の減少、国庫補助の減少などで、大変ひっばくしている。税を引き上げないと財政破綻してしまう。

(出栗伸幸)

賛成多数で可決

(賛成14人・反対11人)

関連する国保特別会計予算についても討論が行われた。

#### 反対討論

前年所得が確定していない時期の大幅値上げで、上限額負担の年収が他市と比べて低く、中所得者に不利。値上げされる国保税の予算であり、反対。

(呉羽真弓)

## 国保の葬祭費5万円に減額

国保の葬祭費7万円支給を、他の医療保険にあわせて、5万円へ引き下げられるもの。

(酒井弘一)

#### 反対討論

国保の葬祭費7万円は、旧木津町で住民の願いを

賛成多数で可決

(賛成16人・反対9人)

賛成多数で可決

(賛成18人・反対7人)

## 交流会館2館の指定管理者決定

中央交流会館と西部交流会館2館は、財団法人木津川市緑と文化・スポーツ振興事業団が新たに指定管理者に決まる。期間は3カ年。3社が応募。

東部交流会館は公民館的役割を果たすため、市が直営する。

全員賛成で可決

## 山城総合文化センター等の指定管理者継続

山城総合文化センターやすらぎタウン山城ブルー・不動川公園・上狛駅東公園など、4施設が財団法人木津川市緑と文化・スポーツ振興事業団が指定管理者として再度決定。期間は3カ年。2社が応募。

全員賛成で可決

## 副議長が交代



2月24日、片岡廣議員から副議長辞任願が提出され、議長が副議長の辞職を許可。それに伴う副議長選挙を行い、尾崎輝雄議員が副議長に就任。



## 運賃のあり方を見直せなどコミュニティバス決議成立

大西宏議員ら7人が、「木津川市コミュニティバスに関する決議」を決議した。

決議は、半年後をめどに常時利用者的大幅割引や高齢者など社会的弱者への運賃見直しなど3項目の実施を求めている。

Q きつつバスの特別割引は、不平等ではないか。

行政改革推進委員会からの指摘どおり、市の

### 高齢者福祉手当は廃止

高齢者の福祉向上のために市民税非課税世帯で満80歳以上の人に年1万8千円を支給する手当を廃止するもの。

手当は、木津町や加茂町で実施されてきた。合併で現制度になった。創設から40年近く経ったが、社会情勢や高齢者社会制度が変化し、事業を見直すもの。

22年度から廃止する。

Q 合併協議で残された事業である。廃止するのは

A 運賃は、どれも200円。3地域とも同じ割引などを求めている。

Q 決議の効果は。

A 市民の代表である議会が決めた意味は重い。

### 討論

#### 反対討論

行財政改革推進委員会からの指摘どおり、市の負担額と運賃収入のバランスが保たれておらず、赤字でも税金の投入は当たり前前という決議には反対。

昨年市の運賃案は、3地域とも実質運賃が150円。この実現が先だ。利用者は、高齢者や障害者、女性が多い。半年後に運賃を見直せ。

#### 賛成討論

賛成多数で可決  
(賛成14人・反対10人・退席1人)

(宮嶋良造)

## 75歳以上の人間ドックに助成を

後期高齢者医療特別会計は、5億3888万円の前算。

22年度は新たに健康診査項目を増やし、希望者には国保と同じ人間ドック助成が行われる。

Q 75歳以上を別枠の保険にした制度。廃止して元の制度に戻すべき。

A 国の制度なので、推進する。今後、国の動向を見て実施する。

#### 反対討論

保険料の値上げは、鳩山内閣の公約違反。強く国と府へ予算措置を求めべきだ。

高齢者への安易な負担転嫁には反対。(酒井弘一)

賛成多数で可決

(賛成16人・反対9人)



### 22年度後期高齢者医療保険料の増減

#### 単身世帯

年金収入額	79万円	120万円	180万円	200万円	300万円
21年との増減	△70円	△105円	△33円	357円	5033円

#### 夫婦2人世帯

年金収入額	夫	79万円	120万円	180万円	200万円	300万円
	妻	79万円	79万円	79万円	79万円	79万円
21年との増減		△140円	△210円	△173円	△203円	4333円

(△は減額)

# 核廃絶と国保制度の抜本的改善の意見書を国に送付

総務委員7人が提案した「ヒロシマ・ナガサキ議定書」の採択を求める意見書」と厚生委員会が提案した「国民健康保険制度の抜本的改善を求める意見書」は、全員賛成で可決し国の関係機関に送付した。

## 核廃絶へ

人類史上初の原子爆弾の惨禍を経験した日本は、全世界に対し、一貫して核兵器の廃絶と恒久平和の実現を訴え続けてきた。米大統領の「核兵器のない世界」演説以降、核



兵器廃絶の流れは加速している。

平和市長会議が示した核兵器を廃絶する「ヒロシマ・ナガサキ議定書」が、NPT（核拡散防止条約）再検討会議で採択されるよう核保有国・その他各国政府に働きかけることを要望する。

送付先―衆参両院議長、内閣総理大臣ほか総務、外務各大臣

## 国保制度の改善を

国民健康保険は、保険税が上ががり、支払い困難な世帯が増え、収納率が

低下した。

原因は、国保会計への国庫負担割合が1984年の49・8%から2007年の25%まで下がったことにある。

①国庫負担金を増額し、国保会計全体に占める国

## 木津中央地区の土地利用決まる

23年まちびらき予定の木津中央地区の計画的・有効な土地利用を行うために地区計画ゾーンなどを決めるもの。

## 反対討論

市都計審で「中央地区も含め、市全域の商業地域に高さ規制を検討・決定する」との意見が付された。また、市の説明と府の見解の相違も明らか。

(呉羽真弓)

賛成多数で可決

(賛成24人・反対1人)

庫負担比率を高めること。

②子どもの医療費無料制度を広げる障害である国庫負担金の減額算定措置を廃止することなど。

送付先―衆参両院議長、内閣総理大臣ほか総務、財務、厚生労働各大臣

## 新しい道路を市道に

加茂町井平尾地区の国道163号の改良工事によりできる道路を市道にする。

## 反対討論

道路法8条に基づく市道認定に関わり、認定基準を策定するよう昨年6月より指摘してきた。必要性は認めるが、未だに策定されずにいる。反対。

(呉羽真弓)

賛成多数で可決

(賛成22人・反対2人・欠席1人)

## 議会基本条例策定をめざす

議会運営委員会が、議会基本条例をつくる特別委員会の設置を提案した。

Q 議会改革にも関わる委員会。1年でできるのか。

A 1年間で十分な審議を期待する。

## 全員賛成で可決

委員長	大西 宏
副委員長	倉 克伊
委員	炭本 範子
	西岡 政治
	山本 喜章
	尾崎 輝雄
	高味 孝之
	曾我千代子
	宮嶋 良造
	村城 恵子
	織田 廣由
	梶田 和良
	呉羽 真弓

## ワード

### 議会基本条例

議会の憲法。地方議会運営の基本原則を定めた条例。

## 国の交付金 2700万円追加

3182万円を増額した一般会計補正予算が提案された。

主な収入	
地域活性化・きめ細かな臨時交付金	2712万円
主な支出	
木津南地区のカーブミラーほか	784万円
州見橋防護柵の設置	690万円
加茂町里地内の市道舗装改良工事	1195万円
裁判費用	23万円

全員賛成で可決

# 合併4年目予算を審査

## 予算特別委員会

3月18日・23日・24日の3日間、議長を除く全議員で予算特別委員会を開会。(委員長 山本喜章・副委員長 宮嶋良造)  
22年度230億円の一般会計予算を審査し、賛成多数で可決した。

### 主 な 質 疑

議会・市長公室・総務部・出納部・支所・行政委員会の予算

**Q** 消防団員退職報奨金1465万円に係る退職者数は何人か。また、消防団員の確保対策は。

**A** 高齡介護課長 100歳16人、90歳168人、88歳226人、80歳494人分。地域ごとに配車を行い、加茂文化センター11カ所で開催し、今年も同じ場所の予定。

**Q** 市民税・個人市民税の減が目立つが主な原因は。  
**A** 税務課長 個人所得は毎年下がっている。

**Q** 市長会負担金156万円の内容は。  
**A** 人事秘書課長 内訳は、全国市長会45万円、近畿市長会17万円、府市長会94万円。

人口増であるが、個人所得の減や住宅控除により、住民税が下がる。法人税は、研究所が多く、収入を見込めない。

**Q** 庁舎清掃委託料は、支所分も含まれているのか。  
**A** 総務課長 本庁舎は3カ年の継続契約であり、支所分は支所関係予算で計上し、入札している。

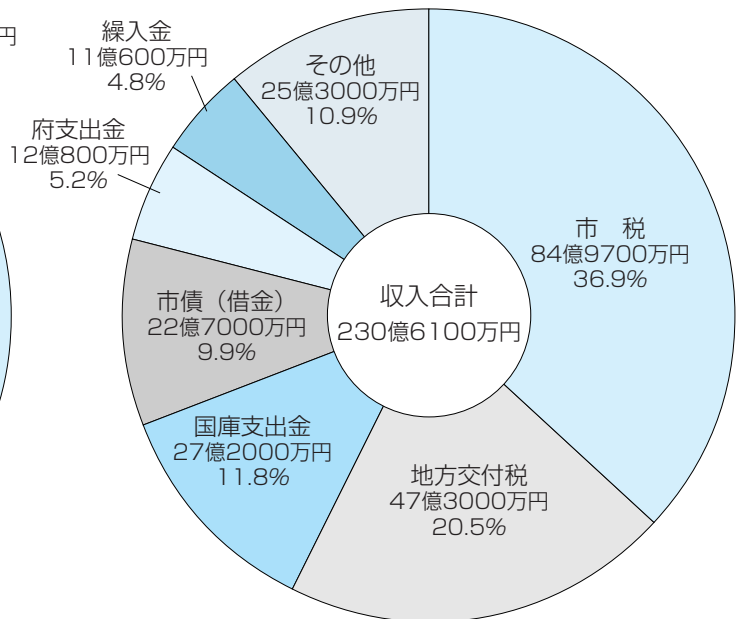
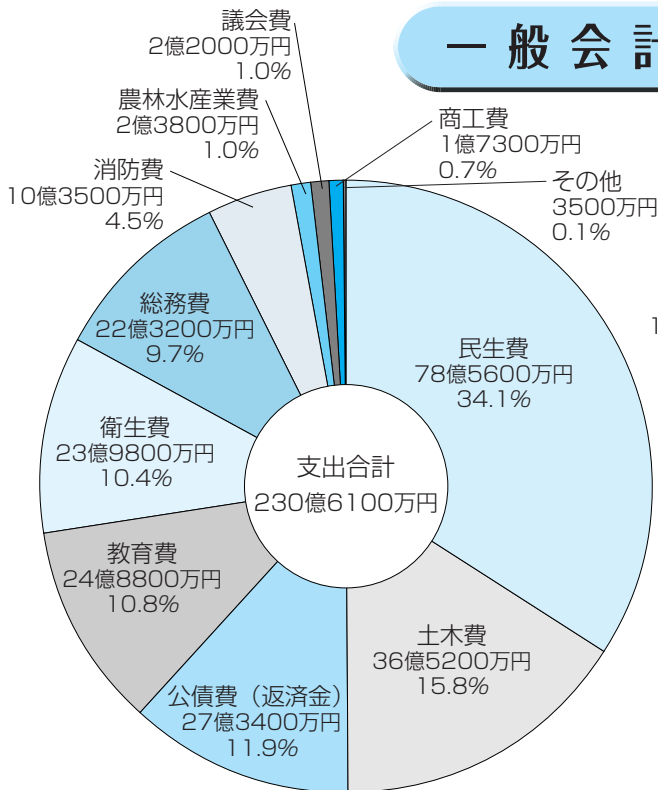
### 生活環境部・保健福祉部の予算

**Q** 敬老会での祝いの対象者数は。また、旧町ご

**Q** 生活保護世帯の相談や自立への働きかけは十分か。  
**A** 社会福祉課長 ケース

**Q** 子ども手当で9億3500万円の対象者数は。  
**A** 子育て支援課長 対象者数は約1万1千人。

## 一般会計予算構成



(千円未満は切り捨てのため合計額と一致しません)

んでいる。自立支援は、就労支援員の活用や子育て支援課と連携しておこなっている。

**Q** 総合がん検診事業は、40歳以上すべての人に案内するのか。

**A** 健康推進課長 子宮がん検診は20歳から、乳がん検診は30歳から、その他は40歳以上。対象者すべての方に案内している。

**Q** 廃棄物減量等推進審議会の内容は。

**A** まち美化推進課長 法規定の審議会である。ごみの減量等の推進を目的とした取り組みを進める。

**建設部・上下水道部・教育部の予算**

**Q** 農業振興地域整備計画策定業務の期間は。

農地有効利用支援事業が廃止された。この事業に替わるものは。

**A** 農政課長 策定業務の期間は1年。

府土地改良事業の10

0万円の補助金を活用する。

**Q** 入札改革の取り組みは。  
**A** 指導検査課長 21年度

総合評価方式により、2件実施。22年度の大規模な工事は、総合評価方式で、複数件実施する予定。

**Q** 学校給食調理・配送業務の民間委託で割高になったのではないか。

**A** 教育次長 調理業務委託5200万円、配送業務委託1700万円であり、高くなったとは考えていない。  
賛成多数で可決  
(賛成18人・反対4人・退席2人)

◆ 子育て支援

- \* 子ども手当【新規】・児童手当等の支給 15億4,662万円
- \* 妊婦健康診査 7,504万円
- \* 子育て支援センター事業 3,047万円
- \* 福祉医療（子育て）の助成 1億5,554万円
- \* （仮称）木津学研中学校の建設と開校準備【新規】 2億7,642万円
- \* 加茂学校給食センターの運営【新規】 9,463万円

◆ 都市への基盤づくり、その他の重要施策

- \* 市の玄関口の整備  
（木津駅前土地区画整理事業） 3億5,587万円
- \* 木津駅東地区の整備と駅東口・西口のアクセス向上 6億82万円
- \* 平城遷都1300年祭と国民文化祭 2,556万円
- \* 農業基盤整備の推進 7,559万円
- \* 農業振興地域整備計画の策定【新規】 660万円
- \* 市の魅力発信、観光の振興 5,734万円
  - うち七夕まつり 150万円
  - 納涼大会 560万円
  - 地域まつり（木津・加茂・山城） 300万円
- \* 障害者自立支援給付費等 6億3,011万円
- \* 生活保護費 5億2,471万円
- \* 清掃センターの整備  
循環型社会形成推進地域計画の策定など 649万円
- \* 山城支所の改修設計委託料【新規】 500万円
- \* 議会中継・会議録検索システムの導入【新規】 370万円



24年3月完成予定の木津駅前

一般会計予算の主な施策

## 職員の 地域手当改正

総務委員会

3月4日に委員会を開会し、議案10件を審査し、全議案可決した。

全議案可決

### ■出向職員の地域手当を 制度化

市外に勤務する職員の地域手当の支給割合を制度化する条例改正をするもの。

Q 国の地域手当の支給段階と支給率は。この時期に地域手当を改正するのはなぜか。

A 国は6段階ある。1級地18%、2級地15%、3級地12%、4級地10%、5級地6%、6級地3%。今後、京都地方税機構などに出向する職員が常態

化するため。

Q 現在、出向職員は何人か。地域手当の年額は。

A 2人。勤務地が、京都市内で10%、約40万円。宇治市内で6%、約18万円。

### 全員賛成で可決

### ■くらしのアドバイザー 事業を廃止

22年3月から相楽消費生活センターが、相楽郡広域事務組合で開設され

ることに伴い、市が単独で行ってきた、くらしのアドバイザー事業を廃止する提案。

### 全員賛成で可決

### ■4財産区新年度予算

旧加茂町4財産区の22年度特別会計予算を審査。

Q 自治振興補助金が、前年度より減った理由は。

A 補助申請の減少による。

Q 4財産区の自治振興事業は、本来、市が行うべきではないか。

A 市の補助制度の対象外や、区として緊急性のある事業などは、財産区で予算化している。

### 全員賛成で可決

### ■城南市町村税滞納整理 組合が解散

城南市町村税滞納整理組合が解散したことにより「京都市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少および京都市町村職員退職手当組合規約」が変更された。

### 全員賛成で可決

### 新委員長に織田議員

同日の委員会において、尾崎輝雄委員長の辞任に伴い、新委員長に織田廣由議員が選出された。



開設された相楽消費生活センター（相楽会館）





日々の健康管理を

# 国保税の 値上げ決まる

## 厚生委員会

3月5日に委員会を開会し、議案13件を審査し、全議案可決した。また、国保に関する意見書の提出を決めた。

**全議案可決**

**■国保税平均17%の大幅値上げ**

**Q** 医療保険の一元化は。

**A** 自治体間の格差も大きく難しい。

**Q** さらに一般会計から繰り入れるべきではないか。目に見える健康づくりを。

**A** 計画的に一般会計から繰り入れ3、4億円程度の基金をつくる。

22・23年度に健康増進計画を作り、目標値を持って取り組む。

**賛成多数で可決**

国保の抜本的改正の意見書を、委員会として提出することを決めた。(5ページに掲載)

**■特定健診項目増やす  
節目ドックは廃止**

**Q** 22年度国保会計予算

保険給付費の伸びを

厳しくみる必要がある。

**A** 過去3年間の伸びをもとに算出した。21年度はインフルエンザによる影響が少なかった。

**Q** 出産育児一時金42万円

円で足りるのか。受領委任払いに問題はないか。

**A** 個々のケースにより違う。受領委任払いは、医療機関への支払いが遅れることの見が出てくる。

**全員賛成で可決**

**■4年後に廃止  
新制度へ**

22年度後期高齢者医療

会計予算

**Q** 今後、後期高齢者医療制度はどうなるのか。

**A** 23年度に新制度がで

き、25年4月から実施予定。国で制度改正が行われる。

**Q** 健診の実施状況は。

**A** 20年度受診率は、29%。22年度は検査項目を増やし、受診率を高めたい。

**Q** 高齢者の人間ドック

は。

**A** 日帰りドック、脳ドックと両方の併用ドックを行う。予算は70〜80人分。希望が多ければ増やす。

**全員賛成で可決**

**■地域密着型施設は  
22年度に**

22年度介護保険

会計予算

**Q** 計画の施設建設は。

**A** 22年度に事業者を選定し、23年度に建設予定。

**Q** 学校の空き教室や公

共施設の空きスペースを利用して、地域密着型のサービスができないのか。

**A** 廃校などの場合は可能だが、学校の一部を使うことは難しい。教育委員会に問題提起する。

**全員賛成で可決**

**■葬祭費2万円引き下げ**

国保条例の一部改正

**全員賛成で可決**

**■高齢者福祉手当を廃止**

非課税世帯の80歳以上に年1万8000円を支給した高齢者福祉手当を廃止する。

**全員賛成で可決**

# 木津中央地区 計画が決定

産業建設委員会

3月8日委員会を開会。  
議案10件を審査し、全  
議案可決した。また、請願  
1件も審査し、継続とした。

**全議案可決**

## ■木津中央研究開発地区 を決定

Q 研究開発地区に、建設できない建築物は。

A ボーリング場やカラオケボックスなど政令の定めるもの。

Q 木津川台地区では、1500㎡以下の店舗や飲食店は建設できる。木津中央地区はできない。なぜか。

A 木津川台は、精華・西木津で合わせている。中央地区は、センターゾ

ーンに店舗を誘導しているため。

全員賛成で可決

■今後、市全域に高さ規制をする

Q 市・府の都市計画審議会での議論の経過は。

A 市全域の商業地域の高さ規制を検討する事が意見として出され、承認された。

Q センターゾーンの誘致は。

A 建物の集積を図る地区と位置づけ、審議会に図る。

賛成多数で可決

■公共下水道の国庫補助  
金減額される

23億1020万円の公共下水道特別会計予算

Q 国庫補助金が全額措置されなかった場合は、予定の事業は。

A 72%の減額と聞く。具体的検討は今後。追加要求したい。

Q 下水道計画委託料があるが、構想案に対する住民の合意は得たのか。

A 構想に基づき、全体計画を決定する。地域審議会・地域長へ説明中。

Q 一般会計からの基準外繰り入れ額は。

A 6億円程度である。

全員賛成で可決

■基金を改良事業にもあてる

配水施設や配水管の改良事業に基金をあてることのできるもの。

Q 現在の基金残高と将来見通しは。

A 21年度末25億円。改修費15億円で25年には10億円と試算。

Q UR分担金は、調整できたか。

A 研究区域90ヘクタール分は、交渉できていない。

全員賛成で可決

■新しい道路を市道に

Q 土地の所有権の整理はできているのか。

A 登記簿で国が買収していることを確認済み。

## 討 論

Q 市道を認定する際の市の基準はできたか。  
A 原案作成中である。

反対討論

かねてより指摘してきた市道認定の基準が未だ策定されておらず、反対。

賛成討論

市民の安全を確保するための信号設置に必要であり、賛成。

賛成多数で可決

■公共下水道を求める請願は、継続審査

1月25日に委員会で現地視察を実施。その上で、委員の意見交換をした。

地域審議会の審議の報告を得た後、審査することとした。



中央地区の玄関口（木津駅東）

# 泉川中学校にも 給食スタート

## 文教委員会

3月7日委員会を開き、議案4件を審査し、全議案を可決した。

**全議案可決**

### ■加茂学校給食センター 稼働へ

Q 工事の進行状況は。

A 外観は終わり、厨房機器の設置は3月中旬。

Q 調理の委託先は。

A 事故が起きないよう準備と訓練が必要では。

A 委託先は(株)東洋食品。厨房機器が搬入されてから、調理人の訓練と準備が行われる。

Q 委託業者を選んだ理由は。

A 2月15日に選定委員会を開いた結果、最高得点で選定された。

Q 給食の調理食数は何食から始めるのか。

A 2500食の調理機能をもつが、泉川中学校、州見台・梅美台小学校の3校で、1500食でスタートしたい。

### ■加茂図書館を 加茂支所に

Q 新図書館の書架は十分か。南加茂台分館の閉

鎖の理由は。

A 既存の書架を再利用するなどして、十分に整える。協議会にて分館は新図書館に統合するというので、閉館が決まった。

### ■交流会館の指定管理者 決定

Q 3団体の応募があったが、経験のない新しい団体は不利になるのか。

A 選定委員は厳格・公平に選定しているので、新しい応募者でも不利にならない。新しい委託先は(財)緑と文化・スポーツ振興事業団に決定した。

Q 指定された団体に市の役職員が入っている。公平性が保たれないのではないのか。

A 役職員が理事に就任しているのは、財団の設立当時から運営方法による。今後は検討する。

Q 東部交流会館が指定

管理者制度からはずされた。公民館的役割を果たすということだが、公民館という名が付けられるのか。

A コミュニティや、生涯学習の施設として運用をしていきたい。

Q 北別館と東部交流会館の2つが、公民館の機能を持つということか。

A 木津地域に社会教育、生涯学習の場としての施設が必要なので、今後も教育委員会が管理する。

### ■山城総合文化センター の指定管理者決定

Q 交流センターと山城文化センターと選定メンバーが違うのはなぜか。

A 指定管理の仕事が異なるので選定委員を変えた。今後は検討したい。



加茂学校給食センターいよいよ稼働

# 「きめ細かな交付金」で事業継続

## 補正予算特別委員会

3月10日に委員会を開会。7293万円を減額し、21年度予算を273億3289万円とする内容。

各種事業費の確定により、財政調整基金繰入金を2億200万円減、市債を7000万円減とする一方、きめ細かな交付金を活用した事業の予算化を図るもの。全員賛成で可決した。

### 主な質疑

**Q** 今回の臨時交付金の対象事業と今後の執行状況は。

**A** 財政課長 17事業が本補助金対象事業で、繰越を前提に予算措置を行った。22年度末の完成を見込んでいる。

**Q** 北<sup>か</sup>綺<sup>ば</sup>田の水路改修工事の不測事態がおこった。今後の工事発注の方法は。

**A** 農政課長 不測事態に係る部分は、現予算の残事業の中で流用し、解決したい。



北綺田地区のほ場整備

**Q** 木津駅前土地区画整理事業の執行状況は。

**A** 駅前整備事務所長 物件補償はすべて終わったのか。

**A** 総事業費は、77億円。21年度末で72億円。22・23

年度で5億円の支出を予定。

建物補償は終わった。休業補償等は残っており、今後も若干の支出を予定している。

**Q** 木津学校給食センターの工事監理委託料539万円の内訳は。

**A** 教育次長 給食センター1空調設備改修監理委託料245万円、除外設備設置監理委託料223万円、屋根改修工事の設計委託料70万円。

**Q** 就学時健康診断事業費14万円の減額の理由は。

**A** 教育次長 昨年の10月から11月にかけて、各小学校の就学前の児童に対し、健康診断を実施。当初840人見込んだが、実績は775人であった。

### ワード

#### きめ細かな交付金

「地域活性化・きめ細かな臨時交付金」のことで、地方公共団体が、国の緊急経済対策の趣旨に沿った、きめ細かなインフラ整備事業を行う場合に国から交付されるもので、本市には約1億8583万円が交付決定された。

### 補正予算の主な事業

◆障害福祉サービス事業	1000万円
◆保育園改修工事（南加茂台保育園ほか）	1069万円
◆道路維持管理事業（東西幹線1号ほか）	3772万円
◆橋りょう維持管理事業（姫子橋）	1222万円
◆全国瞬時警報システム整備委託料（山城地域）	752万円
◆木津学校給食センター施設整備工事	7451万円

（千円以下の金額は切り捨て）

委員長	吉元
副委員長	高味 善宏
委員	炭本 孝之
	呉羽 真弓
	西岡 政治
	山本 喜章
	尾崎 輝雄
	木村 浩三
	酒井 弘一
	七条 孝之
	島野 均
	森岡 譲
	中谷 裕亮

## Q 子ども医療費助成を小学6年まで

### A 9千万円負担増で財政的に困難

〈質問〉①介護3施設、グループホーム、小規模多機能型居宅介護の増設計画は。地域で支える協働型福祉社会を築くため、介護施設を拡充し、安心して老後を暮らせる社会実現を。

②子ども医療費を小学6年修了まで助成拡大を。本市周辺では、小学3・6年、中学3年までと前進しているがどう考えるか。

③高齢者福祉手当廃止、葬祭費引き下げ、国民健康保険の大幅引き上げは市民生活に影響するが。

〈市長〉①学研病院（精華）で介護老人保健施設が今年新設される。地域密着型サービスは早期に整備する。

②現在3歳から就学前の

通院助成（約6500万円）で、小学6年まですると約9100万円の追加が必要で、財政的に困難。

③福祉手当は廃止するが、高齢者人間ドック助成、高齢者世帯に火災警報器無料設置。国保では、保険給付費高騰で、厳しい財政のため税率改定する。

#### 子どもの幸福を最優先に

〈質問〉①子育て支援No.1にふさわしいものは。妊婦健診、子ども医療助成、病後児保育など、遅れを取ったが、チャイルドフアースト社会を目指しては。

②小中学校耐震化計画はいつまでに終了するのか。

③今年国民読書年であるが、5月にオープンする加茂図書館でイベントを企画しては。奈良市、木津川市、精華町、2市1町内で、自由に図書館使用、貸出し可能にするために市長、町長に働きかけては。

〈市長〉①放課後児童クラブの拡充、保育所持機児童ゼロ、木津川市次世代育成支援行動計画を重点的に取り組み、子育て支援No.1を目指した。児童クラブを20カ所に増設。なごみ保育園を開園する。

〈教育長〉②27年度までに第4計画を策定し実施する。

③イベントを企画中。2市1町間で働きかけ検討する。



島野 均

#### 早くクリーンセンターを

〈質問〉①清掃センター建設候補地答申を受け、地

元の説得、建設計画は。  
②地球温暖化対策に、太陽光発電助成制度創設を。  
〈市長〉①クリーンセンターは、最優先課題である。稼働まで8年から10年要する。地元の協力、理解を頂けるよう取り組む。  
②地球温暖化防止計画を策定中であり、十分理解しており、その計画の中で検討する。



介護施設（ゆりのき）

会派  
代表質問

公明党

幹事

織田

廣由

島野

均

幹事 倉

阪本

出栗

吉元

尾崎

克伊

明治

伸幸

善宏

輝雄

## Q 新年度予算の主要施策を検証する

### A 事業の見直しをした



出栗 伸幸

〔質問〕行革の推進で、予算にはどう反映されたか。河井市政の過去3年間を

ふまえて、仕上げの年にふさわしい予算編成になったのか。特に重点をおかれた施策は何か。この3年間の施策の達成度はいかがなものか、ひとつひとつ検証したい。

や孫の未来にツケを残さない市政運営をしてもらいたい。お金のない時は知恵を出し、公約実現のために、市長を先頭に職員一人ひとりも「市民の公僕である」ことを認識し、責任と自覚をもって、課題に対処してもらいたい。

## Q 市長公約の検証

### A 子育て支援と行財政改革に努力



吉元 善宏

〔質問〕子育て支援No.1施策の検証。(市長) 20年の、州見台さくら保育園に続き、22年

4月には、なごみ保育園が開園。12カ所の放課後児童クラブは、民間も含め20カ所に増設。つどいの広場事業を新たに2カ所開設。

休日保育の実施。NPO法人・子育てサークル支援。学研都市に立地する大学、研究所との連携を図る。



待たれる病後児保育

〔市長〕今後、交付税が10億円削減される中、何点かの事業を見直した。合併して3年、今が一番大切な時、色んな施策をしたい、しかし健全財政を

維持したいと、悩みながらの予算編成だった。市長として精いっぱい努力したつもりであるので、理解してもらいたい。

- ・ 行政地域制度の創設
- ・ 職員定員適正化の策定
- ・ 市債の繰上げ償還の実施
- ・ 希望降任制度の創設等
- ・ 計画通り事業が進んでいる項目として
- ・ 広報紙やホームページへの有料広告掲載
- ・ 未利用財産の有効活用
- ・ 加茂支所の有効活用

〔質問〕行財政改革行動計画における20年度の財政効果は。(市長) 収入支出合計で、約4億5千万円の財政効果があった。

幹事

高味 孝之

曾我千代子

木村 浩三

中谷 裕亮

## Q 施政方針の中味を問う

### A 実現できるよう努力

〔質問〕清掃センター建設事業の22年度事業計画および計画年度内での実行の可能性は。

〔市長〕建設候補地を鹿背山川向地内と決定し、ま

ずは周辺住民の理解と協力を得られるよう、努力する。その一方で、環境影響調査、都市計画決定および、国の補助金交付金申請に関する事前の調整・準備に取り組んでいきたい。

クリーンセンターが稼働するまでの期間については、都市計画決定などの法的な手続および工事施行に要する期間などを勘案すると、おおむね8年から10年を要する。

市のごみ処理の現状を考えると、一日も早く建設・稼働させるため、周

辺住民市民の理解と協力を得られるよう努力し、この計画年度内に実現できよう努力していきたい。

〔市長〕

〔質問〕学校施設の耐震化と市耐震改修促進計画との整合は。

〔市長〕耐震改修促進計画では19年3月末時点の学校施設の耐震化率は78%であったが、22年度末では84%となる予定。できるだけ早期に耐震化率100%を達成したい。

〔質問〕地域に応じたきめ細かな子育て支援の提供の具体的な内容は。

〔市長〕継続的に民間保育園の誘致を進め、21年度には社会福祉法人奈良福祉会を誘致し、ことし4

月に、なごみ保育園を開園する。

今後は、現在進めている「次世代育成支援地域行動計画」で策定する目標事業量に基づき、29年度までに1園増設し、合計14カ所の保育園の設置を進める。

〔質問〕事業仕分けと事務事業評価の効果、また各事業への反映は。

〔市長〕事業仕分けは、5事業の仕分けを行い、すべての事業ともに「市実施で改善必要」という指摘を受けた。

事務事業評価においては、チャイルドシート補助金の廃止、地域イントラネットの整理統合、市税前納報奨金の廃止、シルバー人材センター事業



木村 浩三

補助金の見直しなど、おおむね6200万円の財政効果があつた。



きめ細かな子育て支援を

幹事 大西 宏

伊藤紀味枝

炭本 範子

七条 孝之

深山 國男

西岡 政治

山本 喜章

中野 重高

### Q 第三者の事業仕分けで透明性を

### A 外部の仕分けは考えていない



西岡 政治

〔質問〕国で行っている第三者機関による事業仕分けのように、外部評価の導入、市民への公表を行うべきではないか。  
〔市長〕外部の仕分けは考えていない。市の行財政改革推進委員会を活用する。

〔質問〕木津ヶ丘幼稚園（仮称）、履行責任は

〔質問〕木津ヶ丘幼稚園は、外観ができ1年余りが経過したが、工事完成に向けての動きは全くない。開園は困難な状況で、木津川台の市民も大変心配

している。今後の見通しは。また、履行責任は誰にあるか。

〔市長〕幼稚園用地は分筆され、別々の業者が所有。抵当権が設定され、工事が中断し、23年4月開園は厳しい状況である。

〔副市長〕用地は近鉄に対し幼稚園の誘致を条件として返還した。協定に基

づき、近鉄が責任を持って幼稚園を誘致する。協定締結日から5年間の期限となる24年3月までに幼稚園計画が確定しない場合は、協定を解除できない。協定の履行ができない時には、近鉄に対し、権利関係を整理し、原状回復のうえで返還を求める。

### Q きのおバス、市民の声を

### A 事業継続のため苦肉の策



炭本 範子

〔質問〕運賃100円から倍の値上げは、乱暴。150円の議論は。議会でバスに関する決議を採択した。通学者、年金生活者、障がい者などへの負

担軽減やルートの見直しを行うべき。

〔市長公室長〕値上げは、事業継続のため。150円の議論は協議会ではなかった。利便性の向上は、地域公共交通協議会で方策を考えたい。

なぜできない公共下水道

〔質問〕府公共事業評価審

査委員会では、加茂処理区は合併浄化槽が15%割

高で、下水道整備を継続とした。市の汚水処理施設整備基本構想案は、下水道コストが割高で、合併浄化槽とした。この差異はなにか。

市は瓶原地域を水源の保全で企業と協定した。排水が、地下に浸透している。府が水質を理由に、



21年度から実施している事業仕分け

下水道整備を継続としたのに、市が否定するのは矛盾する。

〔市長・上下水道部長〕

基本構想案は、経済性および効率性を勘案している。経済比較の差異はマニユアルの違い。環境問題として雑排水を懸念す

難視地域の対応策は

〔質問〕デジタル放送開始に向け、どう対応するか。

〔市長公室長〕周知徹底し、市の役割を果たす。



会派  
代表質問

共産党議員団

幹事

宮嶋

良造

酒井

弘一

村城

恵子

森岡

譲

Q 合併協定の誠実な実行を求める

A いろいろと見直しの事情がある

〈質問〉この間、施策の見

直しで合併協定が実行さ

れていない。今回また、

福祉部門で協定内容の変

更が多数提案された。合

併協定をあまりにも軽く

扱っている。市民に対す

る約束違反で許されない。

17%という高率の国保

税引き上げには反対。国

庫負担の増額、ゼロにさ

れた府の補助金の復活を

求めよ。

知らない。

自治基本条例は府の作

業を見守りつつ、調査検

討を進める。

目に見える仕事起こしを

〈質問〉法人市民税は2年

連続の落ち込み。市内業

者の状況をどう認識して

いるか。市としての景気

対策を提案する。

①国のエコポイント活用

の住宅改修助成制度。

②プレミアム付き商品券

の再発行。

③工事の分離分割発注。

④前倒し発注、前払金の

増額。

⑤市の非正規雇用を減ら

す取り組みを。

⑥公契約条例の制定。

〈市長・保健福祉部長〉協

定の見直しをする理由が

ある。

国庫負担率の引き上げ

など、国保制度の抜本改

正を国に強く求めていく。

府の国保補助金の経過は

知らない。

自治基本条例は府の作

業を見守りつつ、調査検

討を進める。

目に見える仕事起こしを



合併協定の実行は（平成18年5月調印式）



酒井 弘一

しい経済情勢である。

①国制度の啓発に努める。

②府の商店街振興補助金

がある。それを活用して、

3 商工会が新商品券の発

行を検討中。

③分割発注を慎重に検討

している。

④前払金は現行の4割で

行う。

⑤来年度、市の正規職員

は減少の見通し。個々の

企業に雇用形態を指導で

きない。

⑥公契約条例は時期尚早。

子育て支援と歯科教育を

〈質問〉就学援助の必要な

児童生徒が増え続けている。

認定基準を生活保護

額の1・3倍へ引き上げ

るべきだ。

他の学研1市1町がそ

ろって子どもの医療費助

成の拡大を決意。市も同

様の施策を。

歯科検診の結果をどう

認識するか。旧木津町の

よい歯の学校日本一の財

産を生かし、一層の歯科

教育の推進を。

成の拡大は財政的に困難。

就学援助制度の周知に

努めている。認定基準の

引き上げは財政的に困難。

歯科治療の促進を図っ

ている。

マニフェストの取り組みは

約束した事業をやり遂げたい

**Q** 残された1年で公約をどこまでやり遂げるのか。

- ①企業誘致の取り組みは。
- ②七夕祭りや納涼大会は。
- ③保育園の待機者児童が山城では特に多いが、フオローをどうするのか。
- ④病後児保育の取り組みは。
- ④災害時における地域防災組織の取り組みは。
- ⑤福祉の充実では、いかに健康寿命を延ばす事であるが、取り組みは。
- ⑥清掃センターの建設予定地が決まったが、地元住民の理解を得る事が第一では。計画期間は。
- ⑦窓口業務の対応は。
- ⑧あじさいホールを指定管理者制度に。



伸政会  
伊藤 紀味枝

**A** 市長 ①誘致活動と立地後のフオロー活動をする。

②市民に楽しんでもらえるイベントを実施する。

**保健福祉部長** ③市全体では空きがあり、他園への通所を考慮してもらおう。山城病院で遅くとも10月1日から実施したい。

**総務部長** ④災害時要援護者台帳を整備し、防災力を向上する。

**保健福祉部長** ⑤健康増進事業を図る。

**生活環境部長** ⑥先進地施設の研修予定。地元を足運び、理解を求める。8年から10年後の稼働を目指す。

**市長公室長** ⑦接遇向上に努める。

**教育部長** ⑧検討し、進めていく。



経済活性化は農業から

市の経済活性化は農業から

農業の6次産業化で活性化を図る

**Q** ①現在総農家数1600戸あるが、専業農家は何戸か。市内農業従事者の現状は。

②有害鳥獣の被害はその後どうか。

③農業所得の向上は。市の農産物直売所の現状とJAとの協議は。

**A** 市長 ①専業農家は農地を賃借できる仕

組みを目指し、農業6次産業化に向け活性化を図る。

②地元猟友会と連携を図り被害防除に努める。

**建設部長** ③京野菜のブランド化をJAと推進し、直売所の拡充や市民農園の開設。新規就農者支援の構築。



さくら会  
尾崎 輝雄

**建設確認申請の対応は**

**Q** ①建築確認申請の受け付けは、地元への事前説明後と聞くが今回は。

②地域長、自治会長は会社との協議を申し入れたが市の対応は。

③施工業者と地元がトラブルっているのに問題なしと判断し、許認可ありきで進めたのか。

④トラブルの起きた時の地域長の位置づけとしての義務と責任は。

**A** 建設部長 ①②③建築確認申請では、地元への計画説明は義務づけていない。④市として責任を持って地域力の向上に努める。



あじさいホールの指定管理は



死後の生命は

よりよく生き抜くために

心の教育に力をいれる

**Q** 現在、死後の生命について考える人が少ない。また、死後は無であり物質の塊にすぎないという考えもあるようだ。

一方「神曲」、「饗宴」で有名なダンテ。「死の瞬間と臨死体験」で有名なキユーブラーロス女史等、死後の生命を信じ論じている。正しき人生、より

よき人生を生きるにはどの考えがよいと思うか。

**A** 教育長 人それぞれ死後の世界の思いや宗教等が異っており、また、思想良心の自由、信教の自由も憲法で保障されている。教育委員会としては、道徳教育を中心とする心の教育に力を入れている。また、社会教



公明党 織田 廣由

育による家庭教育や地域力の向上も必要と考え、力をいれていく。

木津南地区の安全対策は

**Q** カーブミラーの設置は現在どうなっているか。

**A** 総務部長 22年度から年次計画を立て早

廃屋調査結果と対策は

**Q** 廃屋対策の現況は。

**A** 生活環境部長 巡回戸数7400件その内360件が廃屋や空き家。早急に対策をとる必要のある58件は、登記簿上の所有者に対し文書により通知する。

ワンコインバスの魅力を維持せよ

2倍にしてバスサービスを維持

**Q** 市に移り住んでもらう選択肢の一つにもなる百円バスは、人口増加につながる事業では。

約1億円の運行費には疑問がある。経費の明細を示し、削減の努力をしてから住民に負担を求めべきでは。

を制定し、運賃改定時など議会で審議でき、チェック機能を可能にすべきでは。

**A** 市長・理事 持続可能な運行のため、2倍の負担でいつまでも安心して乗れるバスサービスをしていく。バス事業者は、地域公



イレブンの会 高味 孝之

公共交通の趣旨を理解し、運営努力をしている。

運行経費は、見積書で確認している。条例制定については、道路運送法に基づいて運行している。

木津駅東地区の開発は

**Q** 現在策定中の都市計画マスタープランの中で、木津駅東地区全体をどのように位置づけたのか。

**A** 建設部長 具体的な開発計画はないが、東地区の市街化は第1次総合計画に基づき、市街化の検討を含んだ内容になると考えている。

21年度きのつバス運行経費

項目	金額 (千円)				備考
	3路線合計	梅谷高の原線	鹿背山高の原線	木津川台高の原線	
人件費	65,298	26,244	17,561	21,493	運転者、営業所の助役人件費
燃料油脂費	6,774	2,744	1,835	2,195	軽油、オイル等
車両修繕費	5,788	2,345	1,568	1,875	タイヤ、チューブ等部品代
諸費	7,975	3,230	2,161	2,584	事務用品、電気通信代、水道光熱費
減価償却費	7,314	2,834	2,203	2,277	車両、建物等
諸税公課	1,351	519	416	416	自動車税等
一般管理費	4,790	1,894	1,356	1,540	本社関係費用
営業外費用	133	51	41	41	金利等
合計	99,423	39,861	27,141	32,421	

精査が望まれる運行経費

入院中のヘルパー派遣を実施せよ

医療と福祉のはざま必要性認識

**Q** ① 重度障がい者の入院には、24時間の付き添いが求められ、できないと入院を断られるため、ヘルパー派遣は必須。制度化を。

**A** ② 事業所の看護師配置事業に府と共に、補助せよ。  
① 必要性は、十分認

識。国にも強く要望する。府も調査中であり、注視し慎重に対応する。

② 必要予算を補正で計上。高さ規制はごまかずに

**Q** 商業地域に高さ規制を設けることは、市の判断。決定し、公表するめどは。



呉羽 真弓

**A** 建設部長 2年をめぐりに検討する。

生活排水処理計画を急げ

**Q** 廃掃法により、策定の義務づけがある処理計画。今こそ、各課横断的な生活排水処理計画が必要。

**A** 市長・生活環境部長 計画策定を検討。水環境保全に努める。市のレベルが問われる

**Q** 工事看板の基準が改正された。守っていない業者がある。市のレベルが問われる。また、施工体系図揭示せずなど建設業法違反もある。指導せよ。

**A** 上下水道部長 規格どおりの表示にするよう、業者に指導や助言をする。



新しいデザインの工事看板



安心できる地域ぐるみのネットワークを

厳しい財政の中での取り組み福祉

事業の透明化サービス向上を図る

**Q** 介護保険制度の今を問う。

**A** 保健福祉部長 十年を経過し、コムスン等の介護サービス業者が日常のように引き起こしている一連の問題で、介護保険制度の信頼が揺ぎ、介護サービス業全体の監

査体制や、許認可の見直し、不正事業の取消し、再発防止、介護事業運営の適正化のために介護保険法の抜本改正を実施。

本市においても、法令厳守のため、市町村権限で、地域密着型サービス事業者の指導監査はもと



さくら会 阪本 明治

より、不正行為の疑われる事業所には、国・都道府県との情報共有と緊密な連携の下に、厳正に対応して行く。

社会福祉基礎構造改革で、利用者が事業者と対等な関係により、サービス選択の利用制度に変わ

り、利用者側に立った社会福祉制度の充実を図り、良質な人材の養成確保、事業の透明化を図る必要がある。



雑木が除去された木津川

木津川の自然を守れ

今後も生態系を維持していく

**Q** 木津川の河川敷を自然環境や生態系の保全に努めるために、次の5項目の取り組みを。

- ① 河川敷内の不要な樹木の伐採と整理を。
- ② ゴミ処理の指導を。
- ③ 管理費用の徴収を。
- ④ 川砂利の採取。
- ⑤ 旧橋の復元を。

**A** 建設部長 ① 今後とも伐採を順次要望していく。

② 広報紙での啓発や看板の設置により、不法投棄防止に取り組む。

- ③ 考えていない。
- ④ 浚渫しゅんせつの予定はない。
- ⑤ 復元は考えていない。

歴史的個性を大切に



日本共産党

森岡 譲

**Q** 旧町の歴史的独自性を維持する行政を進めるために、次の項目の考えは。

- ① 各町で進めていた「まちづくり」の理念と行動は、合併後も継承されているか。

② 地域固有の伝統を尊重し、向上を図るために「歴史まちづくり法」の活用をすべきだ。

**A** 市長公室長 ① 市の総合計画で旧町のま

ちづくりの成果の魅力を尊重しつつ、さらにそれらの融合による飛躍を重要な視点として位置づけし進めていく。

建設部長 ② 今後研究していく。

市の観光の一体性と拡充を

観光協会と共に魅力あるまちに

**Q** ① 市長のマニフェストの観光について  
の達成状況はどうか。

- ② 遷都1300年祭と、国民文化祭京都2011の内容は。また、市民への早いPRが必要と考えるかどうか。
- ③ 昨年12月に開設された観光協会と行政の役割は。

④ 旧3町の史跡・文化財のつながりが少なく、市として一体的なルートの拡充が必要と考えるが。

**A** 市長・生活環境部長

① 「木津川市魅力探検ツアー」の開催や、観光協会の設立を実施、22年度は、豊富な観光資源を活かした環境整備をす



さくら会

倉 克伊

る。

- ② 遷都1300年祭や国民文化祭京都2011については、昨年5月に実行委員会を立ち上げ、企画した事業が承認された。市民の方には、早い段階のPRをする。
- ③ 観光協会は、市民の自

主的な発想でネットワークを中心に、魅力ある町づくりを担い、行政は、ハード事業として支援。

④ 観光は総合産業と言われる、行政も総合的な取り組みが必要。国道163号の歩道等の拡充や、茶問屋街と木津まちの一体性など、今後、研究していく。



ガーデンモール2階に発足した観光協会

とのおの  
当尾小の統合はいつになる

23年4月を目標にしたい

**Q** 21年度、4回にわた  
り質問をしてきた。

創立130年余の間、地  
域のシンボルとして、ま  
た、地域の学校として存  
続してきたが、統合され  
るにあたって、PTAと  
地域住民に理解を求める  
努力が足りない。  
今後どう考える。

**A** 教育部理事 今後も  
保護者の理解が得ら  
れるよう話し合いを続け  
る。引き続き地域の人た  
ちとの話し合いの機会を  
持つ。

保護者の理解を十分に  
得るため、23年4月を目  
標に考えている。そのう  
えで、統合校児童との授



伸政会

山本 喜章

地元協議を地元の立場で

**Q** 清掃センターの用地  
が決定された。地元  
や隣接区の対応は。

**A** 生活環境部長 打  
越台環境センターの  
状況から判断し、1日も  
早くクリーンセンター建  
設に着手し、稼働させる  
ことが求められている。

地元の理解を得るため、  
地元の意見を聞き、粘り  
強く説明する。



年々増加する有害鳥獣被害

里山再生で鳥獣対策と仕事を

バッファゾーンの整備を進める

**Q** 当尾では、20頭以上  
の猿が現れ問題にな  
っている。猟友会の皆さ  
んの協力や追い払いと同  
時に、環境整備が必要。

放置竹林の整備に、竹  
をチップ化する機械の貸  
出しや補助を出し、里山  
再生で、鳥獣対策と仕事  
おこしの具体化をはかれ。

**A** 建設部長 荒れた里  
山が鳥獣の巣窟とな  
り、餌を求めて里山に下  
りてくる。捕獲は猟友会  
に依頼している。また、

瓶原地域では、電気柵の  
設置後、人里と山林とを  
分けるバッファゾーンの  
整備を進めている。放置  
竹林整備の地域要望は検



日本共産党

村城 恵子

討する。

加茂図書館に図書購入を

**Q** 蔵書数の関係で、図  
書購入予算は、毎年  
三館で一番少ない。移転  
後、予算の増加をすべ  
ぎ

**A** 教育部長 現在、移  
設にかかわり、蔵書  
のデータ化も進めている。  
図書購入予算は、今後検  
討する。

子宮頸がんワクチンを

**Q** 子宮頸がんだけが、  
ワクチンで予防がで  
きる。助成制度の具体化  
を。

**A** 市長 国の法律改正  
や府内の実施状況を  
見守っていききたい。



23年4月統合の方針が出た当尾小学校



政策形成過程で議員と議論を

## 父子家庭の支援は

### 支給対象を拡大する

**Q** ①父子家庭の経済支援は。  
②父子家庭の件数、生活実態は把握しているか。  
③子育てNo.1を目指す市として、母子家庭・父子家庭などといった、本当に助けを求めている市民に対し、相談できる窓口の整備を求める。

**A** 市長 ①ひとり親家庭の自立を支援。児童扶養手当の支給対象を拡大する。  
保健福祉部長 ②これまで父子家庭に支援制度がなかったため、件数や生活実態の把握はできていない。  
③窓口を設ける考えはない。

①七つまつり・納涼大会の開催については市民の思いに答え、今回、予算計上された。どんな組織体制でのぞむか。  
②必要経費にかかわるアイデアが必要。取り組みは。  
③ゴミの排出が最大の課題だ。イベントグリーン要綱を制定すべきだ。



伸政会  
七条 孝之

### 七夕・納涼大会の見直し

**Q** ①七夕まつり・納涼大会の開催については市民の思いに答え、今回、予算計上された。どんな組織体制でのぞむか。  
②必要経費にかかわるアイデアが必要。取り組みは。  
③ゴミの排出が最大の課題だ。イベントグリーン要綱を制定すべきだ。

**A** 市長 ①実行委員会を立ち上げ、ネットワーク会議の団体等の協力を得て組織づくり、イベントづくりの推進を考える。  
②募金・寄付については実行委員会で検討する。  
③イベントグリーン要綱の内容を一度研究する。

したがって、検討するとした事項は、6カ月で結論を求める意味ではなく、6カ月経過したら質問者に進行状況を最低限報告すべきである。  
地方分権が進む中、政策課題が複雑さを増し、政策形成過程で議員との合意形成議論が求められることが多い。

## 「検討する」は6カ月後に報告を

### 進行状況報告は一律とはならない

**Q** 一般質問などで、期限を示さない単なる検討するとの答弁がある。しかし、その進行状況や検討結果については、行政側から、議会や質問者に能動的な報告はほとんどない。再度の質問をした場合に、進行状況が答弁されることが多い。

検討するのは仕事として6カ月経過したら、進行状況報告をするようルールづくりを考えるべきである。



伸政会  
大西 宏

市長 事案ごとに進行の度合いが違い、行政としては責任ある進行状況報告が必要で、20年12月議会でも、ケースバイケースと答弁した。進行状況は報告すべきであるが、時期は一律とはならない。



再開する納涼大会

市民のきのつバスを充実せよ

決議を協議会に報告

**Q** ①値上げを中止し、議会のバス決議を実行せよ。  
②高齢者や障害者も2倍の値上げ、運賃を見直せ。  
③乗降調査を生かせ。

**A** **市長** ①バス協議会に報告した。  
**市長公室理事** ②市の福祉施策で対応。  
③7割が女性、5割が60歳以上、3割が買い物。

調査を利用者増に生かす。

近所で買い物ができるか

**Q** ①市役所周辺で商店の廃業が増え、買い物不便。  
②バスや駐車場の有無がわかる商店マップの作成。  
③商売ができる支援を。

**A** **市長** ①非常に寂しく残念。



日本共産党 宮嶋 良造

**生活環境部長** ②商店情報

報の支援を検討。  
③利子補給は3年延長。  
空き店舗活用など、商工会事業計画を支援する。

さらにゴミの分別減量を

**Q** ①ゴミの分別が十分。  
②生ゴミの分別収集を。  
③分別の成果物を市民に

さらす。

還元し分別の意欲にせよ。

**A** **市長** ①徹底できていない。  
**生活環境部長** ②今は考

えていない。  
③見える啓発は有効。できることから実施する。

市役所1階のテレビ放送

**Q** 大型テレビが生かされていない。放送で情報を。

**A** **総務部長** アンテナに接続し、市民の理解を得て放送する。

また、観光の拠点は、駅前にも置くべきで、観光マップはコンビニにも置いては。



イレブンの会 曾我千代子

もっと子育て支援の充実を

一定の成果は上げている

**Q** 国の規制緩和策を取り入れ「保育ママ制度」の導入や余裕教室の活用で待機児童解消の考えは。また、病児保育の実施や、3人乗り自転車普及に取り組む考えは。

**A** **市長** 梅美台に保育園ができる。  
**保健福祉部長** 市内、どこの保育園でも良ければ

平城遷都1300年祭の客を、スタンプリーの実施で、市に誘致する考えは。

観光行政の活性化を

**Q** 平城遷都1300年祭の客を、スタンプリーの実施で、市に誘致する考えは。

また、観光の拠点は、駅前にも置くべきで、観光マップはコンビニにも置いては。

**A** **生活環境部長** スタンプラリーの実施や、駅前前の拠点づくりは、検討してみる。観光マップはコンビニに依頼してみる。

住民は不満だ

**Q** ①図書館の本を返しやすくするため、返却ポストの充実を。  
②買物のポイントで、コミュニティバスが乗れるようにしてほしい。

**A** **教育部長** ①返却ポストは考える。  
**市長公室長** ②ポイントでのバス乗車は検討課題とする。



梅美台に開園した「なごみ保育園」



分別できていないゴミ





多くの観光客が訪れる浄瑠璃寺

学校5日制の成果は出ているか

一定の成果は出ている

**Q** 「人の道」に外れた考  
えの人が多くなった。  
「常に学び続ける」すなわ  
ち普段の教育（躰）が必  
要である。

人の道は万人に共通す  
るものであるということ  
を教えなければならぬ。  
日々の努力や鍛練が求め  
られるが。

① 本場に5日制で良いの

か。実施で成果は出てい  
るのか。

② 「ゆとり教育」の内容  
は。

**A** 教育長 ① 家庭教育  
力向上や自ら学び  
「生きる力」を育むため豊  
かな体験が不可欠で、自  
然体験の豊かな子どもほ  
ど道徳感・正義感が身に  
ついている。

② 教科等の時間・内容減  
少による学力低下が懸念  
され「生きる力」を育む  
よう言語力・理数力・外  
国語教育を充実し、他人  
を思いやる心、健やかな  
体の育成に力を入れ、一  
定の成果は出ている。



イレブンの会  
中谷 裕亮

**Q** 新しく木津川市観光  
協会も設立され、市  
として今後どのように指  
導し、連携をとっていく  
のか。

**A** 生活環境部長 国宝・  
文化財や史跡の特性を  
生かし、多くの団体（約  
50団体）によるネットワ  
ークの充実を図り、平城  
遷都1300年祭など有  
効活用し、市の活性化に  
つなげる。

きのつバス2倍の運賃は過酷だ

長く続けてゆくために

**Q** 高齢者の毎月150  
0円支給の福祉手当  
をなくす。国民健康保険  
税を値上げする。その上、  
高齢者の利用が特に多い  
きのつバスの運賃を2倍  
の2000円に値上げする  
のは過酷だ。

また、不況で人々の収  
入が下がり、雇用が大変

厳しい状況の中の国保税  
値上げやバス運賃の値上  
げであり、市民の苦しみ  
がさらに増大することを  
推して知るべしだ。

**A** 市長 きのつバスを  
長く続けて行くため  
に、そして子や孫のため  
健全財政を目指し決断を  
した。



伸政会  
深山 國男

加茂のコミバスのあり方

**Q** 「1日10人の乗車がな  
ければバスを走らせ  
ない」という市の計算な  
ら、加茂のコミュニティ  
バスはすべて運行中止と

バスはすべて運行中止と

いうことになる。利用者  
が少ないことを理由に運  
行廃止を決めるのではな  
く、社会的弱者の高齢者、  
障がい者、小さな子ども  
たちの足を確保すること  
によって、市のイメージ  
を高めることを目指すべ  
きだ。

**A** 市長 どうあるべき  
か協議会で議論して  
いただく。



加茂地域のコミュニティバス

# 鹿背山川向が候補地

かわむかい

清掃センター特別委員会

2月9日に委員会を開

会。前日に開催された審議会の答申を受け、政策会議でクリーンセンター建設候補地を鹿背山川向に決定したと、市長から報告を受けた。質疑・意見交換を行った。

Q 審議会において、財政的な検討が一切されていない。

A 財政評価をした結果、候補地が変わる可能性はないか。

A 税金の無駄にならないようするのが、行政の責務。不確定要素もあるが、今後、正確に積算する。

候補地が変わる可能性はない。

Q 地元理解を得るに当たり、市は、審議会の選定内容の客観性を十分に説明できるのか。

A 決定は、市がしたものの。誠意を持って説明す

る。地元への説明に際し、どう伝えるのか。

Q 地元住民との協議の具体的な方向は。

A 最新施設への理解を得ながら、話し合いを進めるよう努める。

Q 将来的な建替え用地も含んだ面積を元にして、候補地が検討されてきた。

A 府の条例では、24時間連続燃焼96トン炉以上でアセスの義務付けがある。

予算削減に努力

(相楽郡西部塵埃処理組合)

2月19日開会。

22年度予算は、3億2999万円で前年度より5075万円の減額。要因は人件費1千万円と修繕費4千万円の減による。

「京都市府町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少及び組合規約」の変更についてを審議した。これは、城南市町村税滞納整理組合が解散したことによるもの。

全員賛成で可決

管理道の復旧工事完了

(加茂笠置組合)

3月25日開会。

22年度予算は、2100万円。

収入の主なものは線下補償金1524万円、財産貸付収入329万円。支出の主なものは基金積立金1680万円、線下補償組合負担金107万円。

21年度補正予算は、311万円を減額し、2488万円とした。収入の主なものは、繰越金113万円の増額、基金繰入金444万円の減額。支出の主なものは賃金と社会保険料165万円と、管理道復旧工事81万円の減額。

全員賛成で可決

消費生活センターに職員を採用

(相楽郡広域事務組合)

2月17日開会。

木村代表理事から、3月1日開設の「相楽消費生活センター」に3人の消費生活相談員を採用したこと、休日急病診療所を山城南医療圏に設置するための議論を進めることなど、4項目の報告があった。

議案は5件。22年度一般会計予算は6億4200万円。下水道整備により、し尿収集運搬業務委託料は、引き続き減少。「相楽消費生活センター」の運営経費約1200万円。

一般会計補正予算は、900万円を減額した。

全員賛成で可決



建設候補地である鹿背山川向地区付近



## 改革の成果がまたれる

(国民健康保険山城病院組合)

2月23日開会。

河井管理者から、病院事業における改革プランの進行状況や介護老人保健施設事業で、建設費を構成市町村で負担するとの報告があった。5人が一般質問をした。

22年度病院事業予算は、新たな診療報酬体系等を踏まえて、収入57億6502万円、支出58億3247万円、6745万円の赤字見込み。患者数減少、経費の増額(医師手当、法定福利費)が要因。21年度病院事業補正予算は、患者数の減により事業収益を約4億5363万円減額、材料費等の減により支出約2億720万円減額する。22年度老健事業予算は、4億8044万円。21年度老健事業補正予算は、給与費の増等により支出34万円の増額。

全員賛成で可決

## エアートントなどを購入

(相楽中部消防組合)

3月12日開会。

22年度一般会計予算は、12億6200万円。主な事業は、人命救助用防火衣購入、緊急援助用エアートント購入など。

市の分担金は、9億5466万円。

21年度補正予算は、536万円を追加し、総額12億3033万円にするもの。

その他に

○職員の勤務時間、休暇等に関する条例

○職員のサービスの宣誓に関する条例

○職員の育児休業等に関する条例

○職員の給与に関する条例の一部改正と人事行政の運営等の状況に関する条例制定を審議した。

全員賛成で可決



購入予定のエアートント

## 税機構造スタート

(京都地方税機構)

2月28日開会。

議案4件を審議。

22年度一般会計予算は17億3800万円を計上。1月から始まった高額滞納案件中心の暫定体制を4月以降は、全滞納案件が対象となった。財源は構成市町村が負担。

支出は、構成市町村の派遣職員人件費12億9800万円と共同徴収支援システム等の運営費。

21年度一般会計補正予算は、暫定体制の人件費や運営費等の最終見通しにより7097万円減額し、6億9540万円にした。共同課税システム開発費3億円は、22年度に繰り越した。地方事務所は、現状6カ所に加え京都市内に3カ所を4月1日に開設。職員定数は、186人に改められた。

賛成多数で可決

## 保険料、全体で微増

(京都府後期高齢者医療  
広域連合)

3月21日開会。

同意3件、議案8件、承認1件を審議し同意、可決、承認した。空席の副議長に京丹波町議会の西山議員を選んだ。

22年と23年の保険料を、均等割額を700円減らし、所得割額を0・39%引き上げる議案は、賛成多数で可決した(4ページ参照)。保険料の軽減措置は継続される。

運営経費にあたる一般会計予算と主に医療給付費を支出する特別会計予算は、賛成多数で可決した。

2議員が制度のあり方や保険証について一般質問を行った。

# わたしの意見

このコーナーへの投稿をお待ちしています。



高橋 幸雄さん  
(山城町平尾)

## 自立国家としての 国家・都市像なき戦後政治

国と地方の戦後政治の最大の欠陥は、政権が自立国家や都市としての国家・都市像を造らぬままに直前の課題の施策に終止して来た点にある。国家像の模範例

として西欧諸国の揺り籠から墓場までの高度福祉社会がある。それを実現する財源として高消費税制の導入がある。食品等の生活必需品以外の物品に対し、高い税率を設定することにより、安定した生活基盤や高等教育が保障される消費循環型経済が確立できる。ゆえに医療・介護・少子化対策等の福祉財政が充実するため赤字財政の解決策にも展望が開けることが期待できる。

## お知らせ

6月定例会は6月4日(金)からはじまります。



吉村 青史さん  
(州見台)

## 「折半」が原則

定年退職して五年がたつ。地域住民の活動に参加する様になり、何かとトラブルが多いのに閉口している。個人の権利、住民の権利、事業者の権利など、様々な

権利・要求が飛び交い、ぶつかり合う。戦後六十五年、個人主義の偏重や行き過ぎた権利意識の助長が、ゆがんだ権利社会を生んだ。古今東西、利害対立の解消は「折半」、英語で言えば、フィフティフィフティが、原則であり、常識である。人類が長い年月を経て、多くの血を流して得た結論だ。お互いの立場や利害の違いを認め合えない争いは、ほとんど愛想が尽きる。



川見 茂子さん  
(加茂町大野)

## JR木津駅前 駐車場を

昨年春、京田辺市から加茂町へ引越して来ました。京都市内へ行く事が多く、木津駅近くに車を止めてJRに乗りうとパーキングを探しましたがありません。商

店で尋ねると「ここは田舎ですから駐車場はありません」と意外な返事。木津駅は3線が交差する便利な所だと思っていました。加茂の皆さんはどうされているのかと教えていただいている。新祝園に駐車して近鉄に乗ります。木津川市には快速停車駅があるのにと悔しい思いがします。駅周辺の市街化計画が進められているとのこと。ぜひ大きな市営駐車場を造って下さい。

## 編集後記

広報委員会に久し振りに復帰しました。旧木津町時代は全国コンテストで連続で入賞できました。しかし、そのプレッシャーの中で編集をしていました。

市になり全国コンテストには参加しなくなりましたが、府のクリニックでは評価Aを頂きました。

今回の広報は、22年度の子算を決める定例会でした。数字が多く読みにくい所もありますが、大切な数字ですので、ぜひお読み下さい。高味たかし

## 広報編集委員会

委員長 伊藤 紀枝  
副委員長 出栗 伸幸  
委員 酒井 弘一  
高味 孝之  
呉羽 真弓  
宮本 良造  
阪本 明治  
島野 均  
片岡 恵  
村城 子